

同時資料提供

香川県/サポート合同庁舎記者クラブ、徳島県/県政記者クラブ、
愛媛県/番町記者クラブ、高知県/県政記者クラブ

国道路面への対空標示を四国内に展開

～地震・津波災害等に備えた緊急対策として取り組みます～

【概要】四国地方整備局は、平成23年度に、直轄国道の内、徳島県、愛媛県、高知県内の主要区間を対象として「対空標示」を全面展開します。（今回整備予定：485箇所）

- 徳島県：102箇所**
- ・国道55号（小松島市大林町～海陽町穴喰）…77箇所
 - ・国道32号（三好市池田町白地～高知県境）…25箇所
- 愛媛県：135箇所**
- ・国道33号（高知県境～砥部町千足）…48箇所
 - ・国道56号（高知県境～大洲市北只）…87箇所
- 高知県：248箇所**
- ・国道32号（徳島県境～南国市明見）…48箇所
 - ・国道33号（いの町波川～愛媛県境）…48箇所
 - ・国道55号（香南市手結山～南国市明見）…17箇所
 - ・国道56号（高知市荒倉～愛媛県境）…135箇所

※設置については、交差点やトンネル等の構造物、横断歩道や路面の規制表示が設置されている区間については、整備予定箇所から控除する予定です。

※国道55号（東洋町～芸西村）90箇所はH22年度整備済み

※キロ程：道路の起点からの距離を示すもの

※【対空標示】東南海・南海地震時発生等における道路の被災状況を迅速かつ的確に把握することを目的として、ヘリコプターから視認できるキロ程を車道路面に1km毎に標示するもの。交通事故発生等に際しても、速やかな地点把握や事故処理など、的確な交通事故処理等に役立つものです。

平成23年6月20日

国土交通省 四国地方整備局 道路部 道路管理課

※本施策は四国圏広域地方計画「No.6防災向上プロジェクト」の取り組みに該当

問い合わせ先

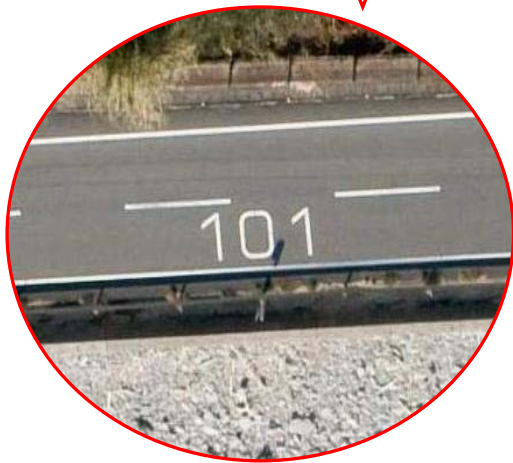
国土交通省四国地方整備局道路部 道路管理課
tel087-811-8325(ダイヤルイン)

課長 河野 一郎 (内線4411)
◎課長補佐 檜田 幸伸 (内線4413) ◎：主な問合せ先

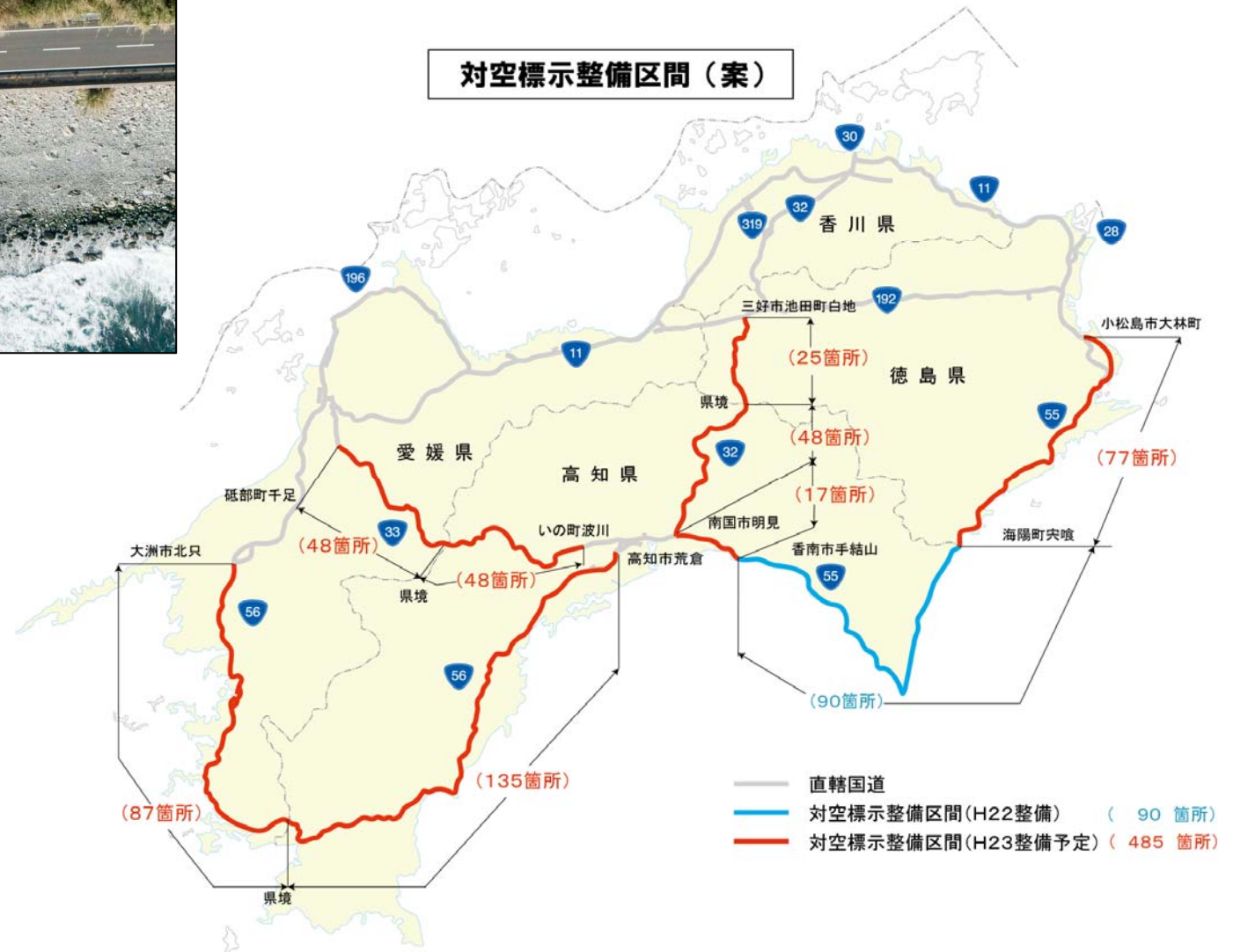
国道路面へ対空標示を拡大します！

別紙

～地震・津波災害等に備えた緊急対策～



整備イメージ写真



【参考資料】

1. 取り組みの経緯

H22. 8 防災訓練を通し、国道55号などの目標物が少ない区間では、搭乗者が初めてである場合など、ヘリコプターからの位置特定に課題があることが判明。

四国地方整備局は、被災状況の迅速かつ正確な把握を目的として室戸周辺の国道車道路面にヘリコプターからの視認しやすいよう、対空標示を先行設置。(奈半利管内約100km、90箇所)

H22. 9 平成22年度四国地方整備局総合防災訓練において、道路の約600m上空から視認性について検証。

設置された対空標示は、上空から肉眼で正確な位置把握が可能であり、周囲に目標物が無い場合であっても災害状況の迅速な把握に寄与することが確認された。この検証結果を踏まえ、他の道路区間へ順次展開する方針としていた。



※上空約600mからの視認状況

H23. 3 東日本大震災発生。三陸沿岸等を中心に甚大な津波被害を受ける。

H23. 4 四国地方整備局は、同震災への支援を進めるとともに、現地調査で得られた知見を活用し、四国の地震・津波の緊急対策として対空標示の早期整備方針を決定。

現在、平成23年の防災の日（9月1日）までに対空標示の整備完了を目途に準備を進めている。

2. 期待される機能

①津波被災の道路啓開後の位置確認

②平常時道路パトロール時の位置確認



※気仙沼：道路啓開後も路面標示は健全



※道路パトカーからみた対空標示